

評価項目及び評価基準表

業務名：大倉山ジャンプ競技場等改修計画検討業務

実施委員審査項目（各委員が採点）

審査項目	評価項目	評価の視点	配点
1. 企業の実績	(1) 過去の類似業務実績	ジャンプ競技場という専門性や特殊性の高い業務内容に対して、業務全体を円滑に進められると判断できる業務実績があるか。	20
		PPP/PFI検討について、専門的なノウハウや知見が期待できる業務実績があるか。	
2. 業務実施体制	(2) 業務スケジュール	確実に業務を遂行するため、業務のコントロールポイントを適正に想定した、実現性の高いスケジュールとなっているか。	20
	(3) 業務の実施体制及び従事者	土木・建築・設備といった複数の工種の検討があることを踏まえ、業務従事者の資格・実績等の妥当性・有効性の観点から、業務全体を円滑に進められる実施体制となっているか。	
3. 業務実施方針	(4) 現状・課題の把握	2つのジャンプ競技場の現状や、抱える課題を適切に把握しているか。	70
	(5) 改修の方向性の検討	ノーマルヒル・ラージヒル併設化とそれぞれ単独改修の比較検討について、適切に比較項目を想定するなど有効な検討方法が示されているか。	
	(6) 施設計画の検討	施設計画の立案にあたって必要となる、国際競技規則や制約条件（法令上、運営上）を適切に把握しているか。	
	(7) 事業手法に係る民間ヒアリング調査の検討	競技施設の改修に留まらず、観光拠点としての価値向上が期待される効果的な調査方法が想定されており、民間事業者の意向を引き出すことが期待される提案となっているか。	
	(8) 技術的検討	土木・建築・設備それぞれの検討にあたり、技術的な面から、検討を進める上での進捗のコントロールポイントや、各工種相互の関連性を適切に把握しているか。	
	(9) その他業務全体を通して考えられる独自提案	業務目的を達成するにあたり、独自提案の内容に具体性と信頼性があり、有効な提案となっているか。	
		合計（委員一人あたり）	110